



有限会社 吉田工業

vol.16

2024年4月15日発行



# Voice



復興部 部長

## MASAKI YUUMA 正木 雄馬

長年、清水建設株式会社の現場で尽力してきた復興部部長の正木雄馬さん。実は一度、有限会社吉田工業を退社したことがあるといいます。しかし、放射線管理の手腕が評価され、2018年に清水建設の強い要望によって吉田工業へ再入社し、場へ戻りました。現在、どのような思いで仕事と向き合っているのでしょうか。300億円弱という大規模案件の管理を担ってきた正木さんの、仕事観に迫ります。

### 大規模案件の管理者

として現場を統括されたそうですね。どのような学びを得られたか教えてください。

一作業員から管理する側になったことで、お金の動きや作業員の

配置、工期といった現場全体の流れを把握できるようになりました。

以前は目の前の作業を終わらせることに集中していましたが、管理者になれば工期から逆算し、いつまでに何を終わらせておくべきか、長い目で現場を見なければなりません。今日や明日ではなく、来年、再来年という長期スパンで人や工程を割り当てていかなければならないのです。俯瞰的な視点で、現場がどのように構成され、動いていくのかを知れたのは、大きな学びになりました。これは、管理者に抜擢していただいたからこそ得られた経験です。

### 現場に臨む際、

研修のようなものはあるのでしょうか。

社内教育については、社長主導

で行われています。ただし、大き

な現場の場合は元請け会社が教育するケースがほとんど。私が携わった現場も同様で、季節や工程の進み具合に合わせた教育が都度行われています。メインは、月次の安全勉強会。この勉強会には、吉田工業のメンバーも参加しています。夏には熱中症対策のビデオを視聴し、冬には路面変化による運転の危険性を学びました。

こうした大規模な現場においては、些細な油断が大きな事故につながるもの。元請け会社もコンプライアンス意識が高く、教育には余念がありません。一見すると非常に細かいところまで規定されているように感じられますが、一つひとつのルールを守り、安全を意識していくことの大切さを実感できます。私も元請け会社の意を汲み、後輩たちに声かけするように

なりました。

吉田工業が成長するためには、一人ひとりの成長が必要不可欠。昨今は若手の方の入社も多く、頼もしい限りです。こうした若手たちの成長の一助になれるよう、しっかりと意識すべきポイントを伝えていきたいと思っています。

### 社内報も担当されて

いるそうですが、

どのように活用して

もらいたいですか。

考えていますか。

社内報を始めたのは、社員同士のコミュニケーション活性化が目的です。社員の多くは全国に出張しており、私自身、会社の集まりで初めて顔を見たという人もいます。特に復興部は原子力発電所や火力発電所関連の案件も多く、全

国に散らばって仕事をしているため交流が少ないのが現状。同じ部署内のコミュニケーションはもちろん、工事部と復興部のジョイントにも社内報が役に立つのではないかと考えました。

巻頭インタビューやさまざまな企画で、ほかの従業員の仕事や人となりを知っていただいたり、社長が考えるビジョンの共有をしたりしていきたくと思っています。私も担当として、社員のインタビューを読むのが楽しみの一つ。役職者にとっては、会社の現状や未来を理解し、今後の仕事の方針を考える上での参考になるのではないのでしょうか。

### 最後に、今後の目標を

教えてください。

吉田社長の掲げる目標を達成す

るためのサポートをしていきたいと思っています。私の長所は、コミュニケーション能力。年の離れた方とも打ち解け、信頼していただけのタイプだと自負しています。これからもコミュニケーションスキルを武器に、吉田工業に貢献していきたいと考えています。

丁寧な仕事ぶりで、お客様から絶大な信頼を獲得している正木さん。これからも最前線で活躍する姿に、期待がふくらみます。

## 企業情報

設立年：1987年5月12日

年商：12億円

※2023年3月時点

# 正木さん

# すごくんな人？

コミュニケーション能力が  
ずば抜けているという正木さんへ、  
親交の深い2名の方に  
思い出や魅力を伺いました！



その方を一言で表すと？

## お調子者

正木さんの「すごいところ」を教えてください！

誰とでも仲良くなれる！  
誰にでも可愛がられる！

思い出エピソードを教えてください！

ゴルフコンペでは、  
いつも負けてしまいます……（笑）

代表取締役

よしだ ただかつ

## 吉田 忠克さん

感謝や激励のメッセージをお願いします！

自分の良いところをどんどん伸ばして、さらに上を目指して欲しいと思っています！

その方を一言で表すと？

## 頼もしい 復興部長

正木さんの「すごいところ」を教えてください！

現場で困ったことがあると、的確な指示をしてくれるところが本当にすごいと感じています。

思い出エピソードを教えてください！

これからイイ思い出ができればなと思っています！



復興部

すずき まお

## 鈴木 慎生さん

感謝や激励のメッセージをお願いします！

中間3期のときは、色々とお世話になりました。  
今は、それぞれ違う現場ですが、体調を崩さないようお互い頑張りましょう。  
また現場で一緒に働けるときはよろしくをお願いします！

# 俺の 武勇伝!



日頃顔を合わせていてもいまだ知らない一面が……。

その社員の知られざる過去の武勇伝をご紹介します。

今号は鈴木さんに突撃インタビュー!

重機部

すずき のぼる

鈴木 昇さん



俺の  
武勇伝

秋田県大館市から  
25トンラフタークレーンで、  
一般道を走って  
会社まで帰ってきたこと。

秋田にクレーンを運ぶときは、3人で交代しなから走りました。いざいわきへ帰ろうとしたときです。運転手が自分しかないことに気づきました。結果、500kmを2泊3日かけて帰ってくることに……。ちなみにクレーン車は、高速道路は走ることができないので、最高時速は49km/h(笑)さらには山形から宮城に抜ける国道48号の峠では20km/hしか出ませんでした。とても大変だったことを今でも覚えています。

# 若手社員

# 現在地

未経験での入社はわからないことばかりです。そのためにも、まずは一生懸命に動くこと!上司からの素敵なアドバイスを胸に頑張る富山さん。先輩の指導やアドバイスを大切に少しずつ成長する姿は、誰もが応援したくなります。

## 建設工事事務

とみやま しゅら と

富山 珠羅人さん



## 成長したこと

### 作業の手順が見えるようになってきたこと

私は、2023年5月に中途で入社しました。現在は、上越火力で点検業務に従事しています。具体的な業務は、タービンの子機類の点検。ここに不具合が生じると大きな問題につながることもあるため、慎重な作業が必要です。前職では電気工事に携わっていましたが、期間が短かったため、実質今の仕事が高校卒業後初めて就いた仕事だと言えます。

入社後、先輩からは毎日たくさんのことを教えていただき、業務に必要な知識を習得しました。**日々学びがある今の環境はとてもありがたく、毎日が刺激的**です。

そして、入社当初は本当に右も左もわからない状態でしたが、少しだけ作業の手順が見えてきて、「次はこういうことをやるのかな」というのを考えられるようになってきたのが、入社半年ごろ。今までは「次に何を持ってくるか」などで頭がいっぱいでしたが、先輩の作業を見る余裕が少しだけできました。

## 苦労したこと

### 集中するだけでなく同時に広い視野を持つ

タービンの点検では、言われたことだけに集中してしまい、周りを見ることが疎かになることがあります。何か物を吊る際に引っかかっていないかななどの安全確認をしながら業務を行うなど、**点検には同時にいろいろな判断をする力が必要**です。作業に集中しながらも、同時に周りを見ることができるよう努力しています。

## 上司からの参考になったアドバイス

### 「くよくよ考える前に一所懸命に動こう!」

午前中に忘れ物をしてしまったことが頭から離れなかった私に、一緒にお弁当を食べているときに言われた上司からの言葉です。何もできないならまずは動きなさいと、そしてくよくよ考える前に一生懸命動きなさいと、叱られたというより喝を入れていただきました。その言葉をいただき、「一生懸命に動こう!」と改めて気を引き締めることができました。

## 今後の目標

### 課題の克服と

### 新しいことへのチャレンジ

現在の課題は、重いものを運べる力をつけること。現場では数十キロの重さのものを運ぶ場面が多くあり、率先して運ぼうとするのですが、難しいときは先輩に助けていただいています。みなさんの足手まといにならないよう、力をつけていきたいと思います。

そして、今は整備・点検をメインの業務としておりますが、**いずれは建設の部分にも携わっていききたい**と思います。

# 湊谷主任に聞く!

## スムーズな

## 業務進行の秘訣

いつも雰囲気明るく、非常に効率的に回っていると評判の湊谷さんの現場。その裏には、どのような秘密があるのでしょうか?後輩が心置きなく質問できる雰囲気、外部業者にも信頼される振る舞い……。湊谷さんの経験に裏打ちされた言葉から、職場でのポジティブな連鎖を生み出すヒントを探ります!

### 効率良く、ミスせず業務を進めるために工夫していること

少し先までの全体の予定のなかで、「今日」何をするか

いつも大体5~10人以上で仕事をしていますが、メンバーには1週間単位で業務の流れを説明するようにしています。そして、全体の流れのなかで「今日」は何をするか、詳しく説明してくと、より効率良く仕事が進むのではないかと考えています。説明のなかで、特に力をいれているのは「モノを壊してはいけない」、また「こういうやり方は危ない」といった安全に対する意識です。説明は朝、皆が集合したタイミングで、図面や工程表を全員で確認しながら行います。そのときに、わからないことがある人からの質問も受けながら、疑問点をクリアしていきます。

### 新人時代、お手本としていた先輩

#### 現社長から教わった大切なこと

私は現在で勤続7年になりますが、入社当初は今の会長が社長を務めていらっしゃいました。その当時、最もお世話になったのが、現吉田忠克社長です。入社してすぐの頃から3~4年ほど、一緒に出張をしながらお仕事をさせていただいておりました。その際、現場では大事な製品を壊さないように気をつけること、また安全面のことなど、現在でも私のベースとなっている、ほぼすべてのことを教えていただきました。

しかし、入社したての時期は、例えば機械の軸受けメタルなどといった繊細な製品をうっかり壊してしまったことも。結局そのときは直していただき、大事にはいたりませんでした。最悪の場合、購入しなければならぬことも。その場合、当然コストや納期がかかります。そして届かないと、その後の工程が遅れてしまうという問題も出てくるため「製品を壊さない」という意識付けはとても大切なのです。



SHOICIRO  
MINATOYA

工事部一課 主任

みなとや しょういち ろう

湊谷 翔一朗さん

### 後輩へのアドバイス

#### 現場の雰囲気を大切に

とにかくわからないことは、先輩に聞いたほうが良いと思います。その際、一度は自分で考えてみることも重要です。しかし、それでもわからなければ、自分で考えてやるのではなく、聞くようにしてください。また、ある程度自分でうまく仕事を回せるようになっても決して現場で奢った態度をとらないようにすることも大切です。仕事は一人でするものではありません。そうした態度一つで、外部の業者の方にも良い印象を持ってもらえなくなるでしょう。私自身、日ごろから奢った態度には決してならないよう注意しています。そうすることで職場の雰囲気は良くなっていると感じます。業者に好かれればメリットしかありません。これからも「この人がいるから、行きたい!」と思っていただけるような現場を目指していきたいと思います。

